

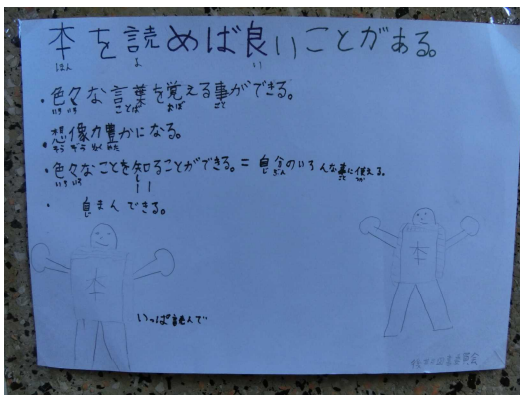


学校が生まれればいいことがある

岩内西小学校長 佐古岡 香

爽やかな風薫る季節となりました。ゴールデンウィークの頃は町内のあちこちで桜が満開となり、まさに春を感じさせる毎日でしたが、あっという間に新緑がまぶしくなっていました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する国の緊急事態宣言を受け、4月20日より日本中の学校が臨時休校となり、岩内町を含め北海道では5月末日まで臨時休校が続きました。そんな中ですが、学校は5月は分散登校や3、4時間授業を実施し、子どもたちの学習の継続や健康状態の把握に努め学校再開への準備を進めてまいりました。登校した子どもたちの様子を見ていますと、マスク着用と手洗いをしっかりと行っており、予防の習慣が身に付いていることが分かります。また、教室内のソーシャルディスタンスや接触を極力減らした授業内容にも順応し、生き生きと学ぶ姿を見せてくれています。保護者の皆様には、道内における毎日の感染情報を耳にし、非常に緊張を強いられる中で、家庭での過ごし方や家庭学習、健康観察カードの記入及び提出等、様々なことにご協力いただきましたこと、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

さて、写真は昨年度の図書委員会が作成したポスターです。「本を読めば良いことがある」と読書の



のよさを伝え、広めています。このポスターを目にするたびに「〇〇すればいいことがある」と様々なバリエーションで考え楽しんでいましたが、学校再開を目前に控え、改めてどんな「学校が生まれればいいことがある」のかを考えてみました。子どもたちに尋ねると次のような答えが返ってきます。

- | | |
|------------|--------------|
| ○友達や先生と会える | ○友達と遊べる |
| ○給食がある | ○友達とおしゃべりできる |
| ○思い出が作れる | ○みんなで勉強ができる |

学校で「顔を合わせる」「会話をする」「遊ぶ」「ともに行う」ことが子どもにとっての「いいこと」の最上位です。子どもたちは無意識のうちに人との関わりやコミュニケーションを求めており、学校はそういう経験を積んでいくところだと理解しているのでしょう。そして、「みんな」という集団の中で「自分の学び」を積んでいくことこのよさに気づいているのかもしれませんが。

「学校始まってよかった!」。子どもたちの笑顔があふれる学校再開にしていきたいと思います。



いよいよ6月から通常登校となりますが、本校では**6月1日(月)～9日(火)の7日間**にわたり、**全校児童を対象に教育相談を行います**。子ども一人一人の理解を深め、成長に結びつけるための貴重な機会となります。得意なこと、興味関心、友達関係、悩みや困り事などを知り、子どもに寄り添った支援・指導に生かしていきます。保護者の皆様も、相談したいことがありましたら遠慮なくご連絡ください。